

～鹿児島で世界を語ろう～

第26回 外国人による 日本語スピーチコンテスト



公益財団法人鹿児島県国際交流協会

鹿児島県在住の外国の方に、日本語で意見を発表する機会を提供することで、外国の方の日本語能力の向上を図るとともに、鹿児島の国際化を考える上で、国籍や文化の違いを越えた相互理解・国際交流を深め、多文化共生の社会づくりを目的として、「～鹿児島で世界を語ろう～ 第26回 外国人による日本語スピーチコンテスト」を実施しました。

今回は、7の国・地域から17名の県内在住の外国の方が予選に出場し、その中から、5ヶ国10名の皆様が本選でスピーチを行いました。発表スピーチの内容を御紹介いたします。

令和3年1月30日（土）
かごしま県民交流センター1階 県民ホール
（御来場者数：131名）

開会

主催者あいさつ 公益財団法人鹿児島県国際交流協会 理事長 津曲 貞利

スピーチ発表

審査結果集計

審査結果発表

表彰 最優秀賞・優秀賞・審査員特別賞・奨励賞

講評 鹿児島県立短期大学 文学科 学科長 土肥 克己

閉会

審査員（敬称略・順不同）

海江田 由 加（南日本新聞社読者局読者センター センター長）

勝 田 順 子（志学館大学人間関係学部 准教授）

高 島 まり子（鹿児島ユネスコ協会 常任理事）

土 肥 克 己（鹿児島県立短期大学文学科 学科長）

中 尾 成 昭（鹿児島国際化推進協議会 会長）

福 壽 浩 （かごしま県民交流センター 館長）

寺 園 直 喜（公益財団法人鹿児島県国際交流協会 専務理事）

※今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、来場者（発表者の関係者を含む）の人数を制限して、事前申込制としました。

また入場の際は、マスク着用、手指消毒、検温のご協力をいただきました。

【最優秀賞】



氏名 BHUSAL HARI
(ブサル ハリ)

国・地域 ネパール



在日期间 1年9ヶ月

学校 神村学園専修学校

タイトル : 結婚?ちょっと待って

世界一高くて美しい山エベレストがある国、ネパール。2019年4月、私は国を離れて、日本へやってきました。

私の住むいちき串木野市は豊かな自然に囲まれ、親切で気さくな人が多く住む町です。私はそんな町で初めての海外生活をスタートさせました。まわりの方々との交流の中で、気付いたことがあります。それは30歳を過ぎても独身の人が多いことです。それは日本ではめずらしいことではなく、そして、独身貴族という言葉まであり、驚きました。

私の国ではだいたい男性は25歳、女性は23歳までに結婚します。国によって様々だと思いますが、日本では結婚相手をどうやって見つけていますか。ネパールでは親が決めた相手と結婚するのがほとんどなので、私の地元では25歳を過ぎて結婚していない友人はいません。国の両親は今頃きっと、私の為に素敵な相手を探していることでしょう。そして、いい相手が見つければすぐにでも、結婚させたいと思っているはずです。今、私は21歳、もうそろそろ心の準備をしておかなければ……。親の言うことを聞いて、「親孝行する息子」のはずでしたが……。おとうさん、おかあさん!!ちょっと待ってください。私はまだ結婚しません。

私は日本へ留学して大きく変わりました。以前は家族といっしょに暮らし、近くには友達がいって、寂しさを感じたことはありませんでした。しかし、ここではすべて自分のことは自分でしなければなりません。わからないことだらけで、どんなに簡単なことでも難しく感じて、毎日、大変でした。今、両親のありがたさを痛いほど感じます。でも、そんな日々を過ごしているうちに、できなかったことがだんだんできるようになると、楽しいことが一つまた一つと増えていきました。学校の授業もレベルがあがるにつれ、話すことが楽しくなり、日本語のキャッチボールがおもしろくなりました。アルバイト先のコンビニでは頼まれる仕事も増えて、今では一人でお店の仕事をこなせるまでになりました。初めて、自分に自信を持ちました。

今、日本にいるうちに、たくさんの経験を積みたい。どんな高い壁でも乗り越えられ

るように新しいことにチャレンジしていきたいと、私の考えが変わりました。昔の自分は人前で話すなんてぜったいできない小心者でしたが、今日こうしてここに立っています。自分の可能性を信じ、心も体ももっと大きく成長してから、結婚します。おとうさん、おかあさん、そして未来の私の奥さん、ちょっと待っていてください。たくましい男になって、あなたに会いに行きます。

ご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 RANA SAMIKSHA
(ラナ サミクチャ)

国・地域 ネパール



在日期間 1年3ヶ月

学 校 神村学園専修学校

タイトル : 日本の神様

♪トイレにはそれはそれはきれいな女神様がいるんやで

皆さん、この歌をごぞんじですか。私は日本へ来てからもう一年たちました。日本とネパールは色々なことが違いますが、一番びっくりしたのはどこにでも神様がいることです。

初めてこの歌を聞いた時、私は「え、トイレにも神様がいる？どうしてトイレにいらっしゃいますか。いろんな場所があるのに、トイレが好きだからトイレに住むのかな」と思いました。後で調べてみたら、人々をよくないものから守るため、トイレに神様がいたそうです。トイレ掃除はみんなが嫌がることですが、それを自分から進んでやったらトイレはきれいになります。ですからトイレの神様は私をべっぴんさんにしてくれるそうです。

ほかにこんな話も聞きました。新しい家を建てた時、色々な神様が走って家を守りに来てくれます。神様の一人はたくさんお金やたからものを持っているので走ることができません。新しい家に着いた時トイレしか残っていませんからトイレの神様になりました。みなさん、重い袋を持って走る神様を想像してみてください。おもしろいですね。このトイレの神様はお金の神様なので、トイレ掃除をするとお金持ちになれるそうです。日本ではトイレにも物にも神様がいると聞きました。大きくても小さくても古い物に神様がいるそうです。だからリサイクルのお店があったりして、物が大切に使われているのかなと思います。

ネパールではこんなことはないです。神様がいる場所は台所、本、お寺と決まっています。台所の神様は家を守る神様です。ですからご飯を食べる時、水や花などのお供え物にさわってはいけません。女の人が台所に入ってはいけない日もあります。それは大変なので最近では台所と神様の部屋を別に作る家も多いです。

本には学問や芸術の神様がいらっしゃいます。サラスワティという女神様です。一年に一回お祭りがあって「勉強ができるようになりますように」とお祈りします。それからこの日は子供たちはピアスの穴をあけます。女の子は耳と鼻に、男の子は耳にあけま

す。日本の皆さんは「学問とピアス」と聞いておどろくかもしれません。ネパールでは勉強も、ダンスや歌などの芸術も同じ神様が守ってくださいます。ネパールの神様は忙しいですね。

ネパールにトイレを守る神様はいません。日本の考えはとても面白いです。でも、勉強ができるようになりたいとか、家族と幸せに暮らしたいとか、お金持ちになりたいという願いは、ネパール人も日本人もどこの国の人でも、同じだと思います。

そして今世界中の人々の願いは、新型コロナウイルスがおさまりますように、でしょうか。どこにいても宗教が違って生活スタイルが違って、この願いはきっと同じだと思います。同じ思い、異なる文化。文化が違って私達は同じ幸せを願っていると心から感じます。

ご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 KHATRI KRISHNA
(カトリ クリシナ)

国・地域 ネパール 

在日期間 1年3ヶ月

学 校 神村学園専修学校

タイトル : ももし

(電話の音)「もしもし、アルバイトのクリシナです。店長いらっしゃいますか。すみません、電話を代わってもらえませんか。はい、お願いします。あ、店長、おつかれさまです。次のシフトについて聞きたいんですが、よろしいでしょうか。あ、はい、はい、うん、そうですか。はい、わかりました。はい、ありがとうございました。失礼します。」

みなさんは最近誰と電話で話しましたか。私たち留学生は日本ではアルバイト先の人だったり、日本人や他の国の友達、あとは学校の先生がほとんどだと思います。そのとき、必ず言う言葉は「もしもし」ですよね。では、今日この会場の中に「もしもし」という言葉の意味を知っている人が何人いるのでしょうか。

「もしもし」という言葉が生まれたのは電話が日本で使われるようになった100年以上前のことらしいです。長い歴史の中ではけっこう最近できた言葉なんですね。「もしもし」というのは「これから何か申し上げますよ」という意味で「申し上げます申し上げます」と言っていたものが長くて言いにくいので、短くなって「もしもし」になったと言われています。元々は相手に丁寧な気持ちで話したいという気持ちがあるので敬語の「申し上げます」という長い言葉を使ったそうです。私はこのことを死ぬほど嫌いな日本語の読解の授業で知りました。なんと！驚いたことに、私の周りの日本人にも知らない人がいました。どうですか、みなさん、このことをご存知でしたか。

これが授業で知った「もしもし」の由来です。他にも、「行ってらっしゃい」には「無事に帰って来て下さい」という意味があること、「ご馳走さまでした」には「いい料理を作ってくれた人の手間暇や生き物の命に感謝します」という意味があることを習いました。いつも意識せずに使っていたあいさつの言葉には実は深い、深い意味があったのです。

日本に来て1年が過ぎました。まだ食べられない日本料理もあるし、学校のみんなで温泉に行った時も恥ずかしくて、日本はまだ遠い国だと感じていました。しかし、今ではネパールからの電話でも、つい「もしもし」と言ってしまいそうになります。意味を知ってしまった以上、「行ってらっしゃい」も「ご馳走さまでした」も言わないとなんだ

か気持ちが悪くなります。学校で習う前から使っていたこれらの言葉の由来を知り、込められている意味に共感しました。今、これらの言葉を通じて日本はもう遠い国ではないと感じています。

ご清聴ありがとうございました。



【優 秀 賞】



氏 名 ROMERO DONNABELLE
DEMAISIP
(ロメロ ドンナベル デマイシップ)

国・地域 フィリピン 

在日期間 2年

学 校 九州日本語学校

タイトル : できます！

人生において、何かを言葉で伝えたくても、うまく伝えられない。誰かに助けを求め
る必要があっても、どのように伝えればいいのか分からない。という経験をしたことは
ありませんか？自分のすばらしい経験を分かち合いたいけど、間違った文法、単語、発
音で笑われるのをおそれて、話さなかったりしたことはありませんか？また、誰かが自
分に何かを伝えても理解できていないのに、「はい」といって会話を止めたことはあり
ませんか？

「あなたにできるの？」

こんな質問を自分自身にしたことはありませんか？

私はあります。

この不安定な時期に最も自分を支えてくれるものは、何ですか？

私にとって、それは『できます！』という日本語です。

2019年の9月、私の考えは大きく変わりました。あの日、公園で友達とベンチに座っ
て、日本語を勉強していると、小さな子供たちが私たちのほうへやって来て、遊び始め
ました。自由に好きなだけ日本語で会話をしている彼らを見て、私は少しうらやましく
思いました。少し頭を休めて、空を見上げながら、本当に彼らのように日本語が話せる
ようになれるのだろうか？と思って、ため息をつきました。その時、突然一人の女の子
が私の所に走ってきて、自分が『はな』だと紹介して、

「おねえちゃん、何をしているの？」

と聞いてきました。私は簡単な日本語で

「日本語を勉強しているんだよ。でも、なかなかうまくならないんだ」

と言い、日本語がうまく話せない自分にいらいらしてしまいました。だから、彼女に優
しく話をすることができませんでした。なぜ4才の小さな女の子に対してこんな気持ち
になったのか分かりません。でも、彼女の次の言葉に私は感動しました。彼女は、

「おねえちゃん、できますよ！」

と言ってくれたのです。

フィリピンにいた時、私は子供たちを専門に教えていて、それに慣れていました。しかし、その時は反対で、私は小さな女の子から、簡単にあきらめてはいけない、望みを持つことが大事だということを思い出させてもらいました。小さな女の子の言葉を聞いた時、神様が私を応援してくれているように、そして、『あなたは、やればできるよ』と信じてくれているように感じました。あの経験をした時から、彼女の『できます!』という言葉は、私の一番のお気に入りの日本語になりました。

漢字を覚える時や、どのように「する」「される」「させる」「させられる」を使うのかを考える時。今のコロナウィルスの影響の中で、自分には「仕事が見つけれられるのだろうか?もしかしたら、国に帰らなければならないのではないだろうか」そう考えると、とても不安です。

でも、この『できます!』という言葉信じて、あきらめないで努力を続けようと思います。

私と同じような経験をしている人たち、話をよく聞いてくれた人たち、難しい状況の中にいるすべての人に、私のお気に入りの言葉を贈りたいと思います。

『できます!』

ご清聴ありがとうございました。



【奨 励 賞】



氏 名 NGUYEN THI THU HOAI
(グエン ティ トゥ ホアイ)

国・地域 ベトナム 

在日期間 1 年半

学 校 九州日本語学校

タイトル : 私が感じた日本の色

日本に来る前、日本に関する私の知識と言えば、大学の授業で聞いた日本文化の話とお寿司などの日本食、それに可愛いキャラクターの話ぐらいでした。でも、日本に来て生活するようになると、経験を通じて私が知らなかった日本をたくさん知るようになりました。

ところで、私のように日本に住んでいる外国人の皆さんは、日本といえばどんな色を思い浮かべるでしょうか。

一年半前、私は夢いっぱいの気持ちで日本に来た時のことを、今でも忘れません。その時に感じた日本の色は薔薇色、つまり幸せいっぱいの色でした。でも、実際に日本に来てからは、薔薇色ばかりではありませんでした。明るい色も暗い色も、本当にたくさんあることに気付きました。

まず、私にとって明るい色とは、優しさが感じられる色のことです。例えば日本には優しく笑顔が素敵なお年寄りがたくさんいます。私が日本に来て、はじめて日本のスーパーに入った時、あるおじいさんがニコニコして私に声をかけてきました。「こんにち は！外国人ですか？」「はい、ベトナムの留学生です。昨日、日本に来たばかりです。」「そう、がんばってねえ！」短い会話でしたが、私は思わず笑顔になりました。また、ある日、アルバイトの帰りにコンビニに寄った時、急に雨が降り出したことがありました。その時突然、あるおばあさんが、傘がなくて困っている私に気づき、傘を持ってきてくれました。そして私に分かりやすいように、ゆっくりと話してくれました。「風邪をひかないように、この傘を使ってね。」と。その夏の雨は、暖かい人間の愛が感じられる雨でした。日本に来る前に本やインターネットで知った日本人のイメージは冷たく、あまり感情がないというものでした。でも、それは違っていたと、実際の経験から感じました。

次に私が感じる日本の色は愛の色です。私は老夫婦が手をつないで通りを歩いたり、電車を降りるときお爺さんがおばあさんを支えたりする姿を見ました。それを見て、こ

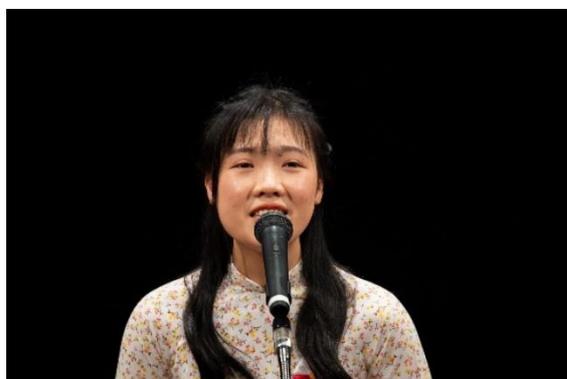
の人たちの愛は静かで、穏やかで、何十年も続いているのだ、と感じました。また、週末の公園で遊んでいる子どもをやさしく見守っている若い夫婦の姿も目にしました。私の見た日本人は暖かい愛の色にあふれていました。

さて、今度は、私にとっての暗い色という涙の色です。日本はいつも私に成長することを教えてくれます。私の言いたいことが相手に上手く伝わらないとき、私はとてもがっかりしてしまいます。そんなとき、悔しさの涙がこぼれてきます。家族も友達もそばにいないアルバイトはとても大変で厳しいこともあるし、何より勉強も大変でプレッシャーになります。先が見えない未来が心配で眠れない夜もあります。暗い夜、よくアルバイト帰りのバスの中でこのような悔しさや寂しさの涙が突然流れてきます。

このように日本はほんとうにたくさん色が感じられます。明るい色に暗い色、愛の色、夢と希望の色、寂しさや悔しさといった涙の色などです。それらの色の全てが私の目に美しい日本を描きます。

日本に住むことで私は気付きました。日本に来る前は明るい色だけで生活できたらいいと思っていました。でも、私が経験した暗い色も、私の日本での生活を充実させるために必要なものなのだ。色が多ければ多いほど充実した生活を現わしているのだと思います。これからの生活は、私にどんな色を見させてくれるのか、今はそれが楽しみです。みなさんが感じる日本の色はどんな色ですか？

ご清聴ありがとうございました。



【奨 励 賞】



氏 名 OLI PREM
(オリ プレム)

国・地域 ネパール



在日期间 1年9ヶ月

学 校 神村学園専修学校

タイトル : ホーム

「ステイホーム」みなさんは今、誰と住んでいますか。

私のホームはネパールです。ネパールでは家族と一緒に住んでいましたが、日本に留学するため家族と離れて2年になりました。今は「ホーム」ではなく「ハウス」でがんばっています。日本にいても、いつも一人で住んでいる母のことを思い出します。毎日私が学校から帰るのを待っていた母、今何をしているか知りたいけれど、残念なことに私の田舎はインターネットのつながりにくい所で、なかなか連絡できません。

日本に来てびっくりしたことはたくさんありますが、中でも、お父さんお母さん、家族との距離があまり近くないということを感じます。私が住んでいるシェアハウスに、掃除をする女性がいらっしゃいます。私たちはその方を「お母さん」と呼んでいます。お母さんは時々マスクを作ってくれたり、やぶれた服を縫ってくれたりして、私は代わりにネパールの料理を作っておあげます。日本のお母さんができてとても嬉しいです。お母さんは一人で住んでいるそうです。子供達はもう結婚して遠いところに住んでいます。「一人で寂しくないですか」と聞いたら「いいえ全然！」と言ったのでびっくりしました。「どうしてですか」と聞くと「一人だと好きな時間に自分の好きな事をして、自由に生活できるし、好きなご飯を食べられるし。」とお母さんは言いました。ネパールでは子供たちが結婚しても、一緒に生活したり孫たちと一緒に遊んだりするのが家族の夢です。

日本に来て学んだことの一つに「まわりに迷惑をかけない」ということがあります。時間に遅れない、体調が悪くてもがんばる、休まない、そうやって日本人は人に迷惑をかけないようにがんばって生活しています。それはとても素晴らしいことですが、その代わりに、自分の時間がなくなったり、体調が悪くなったりすることもあるかもしれません。子どもが大人になったら迷惑をかけたくないとか、子どもたちに自由に生活してほしいと、一緒にいたくてもがまんしている親が多いのではないかと、それが日本人の家族を大切にするやり方なのかなと思いました。ネパールでは、子どもが大人になったら、これからどうすれば家族みんなが幸せに一緒に生活できるか考えます。自由ということ

より、一緒にいることが大切なのです。

去年はコロナで、いろいろなことが変わりました。少しでも体調が悪ければ休まなければならないし、どこにも行けずにステイホームで家族とすごす時間も増えたと思います。日本人にとって、このコロナが、自分や家族をもっと大切にしてみたい、つらいときは休んでもいい、時には家族やまわりの人に迷惑をかけてもいい、それを学ぶいいチャンスになるかも知れないと私は思いました。

冬になると母は、私の大好きな豆のスープを作ってくれていました。留学してひとりで食べるご飯はとても寂しいです。私の場合、今コロナで家族との距離がもっと遠くなってしまいました。国へ帰りたけれど帰れない、家族に会いたけれど会えない。コロナにかかっていないか、元気にしているか、いつも聞きたいですが、今は心配することしかできません。だから、家族と同じ国、同じところにいる人は、家族と一緒にいられる時間をもっと大切にしたいと思っています。人間いつどんな状態になるか誰もわかりません。だから家族を、自分を大切に、幸せに生きていきましょう。今度母に会ったら、私は、豆のスープをたくさん作ってもらって、日本で勉強したことをたくさん聞かせてあげたいです。



【奨 励 賞】



氏 名 TRAN THI THUY DUONG
(チャン ティ トゥイ ズオン)

国・地域 ベトナム 

在日期間 1 年半

学 校 九州日本語学校

タイトル : 第二の家族

私は 2019 年の夏に留学として、この鹿児島に来ました。この鹿児島でのアルバイトの経験は私の価値観を変える大きな転機となりました。

まず食肉加工の工場で働きましたが、もっといろいろな人々と接して日本のビジネスマナーを学びたいという思いから、工場を退職し、新しいアルバイトをすることにしました。新しい仕事はコンビニの店員です。このアルバイトでは、色々なお客様と接するチャンスがあります。私が働くコンビニは大きな交差点にあるので、いつもたくさんのお客様が出入りし、よく長い列ができる忙しいお店です。そんなある日のことでした。レジでお客様の会計をしている時、私はミスをしてしまったのです。お客様のヨーグルトを袋に入れる時、横に倒した状態で入れてしまいました。それを見た女性のお客様から「横にしたよ」と言われてしまいました。すぐに気付いてそれを直し、私は「すみませんでした」と言いました。お客様は怒らずに、そのまま持って帰られました。ところが、それから15分ぐらいして、そのお客様から電話があったのです。「何でヨーグルトを袋に入れる時、横にしたの」というクレームでした。そんな電話があったことを仲間から聞いて、びっくりしました。「ちゃんと直して謝ったのに、お客様はどうしてそんなに怒ったのだろうか。」と、落ち込んでしまいました。でも、そんな私を見た A さんという同僚が私に「大丈夫、大丈夫」と言って励ましてくれたのです。私は店長に怒られるのだろうと思っていましたが、店長も「大丈夫、いろいろ失敗はあるよ。次から失敗しないように心がけて、少しずつ成長していきましょう」と言ってくださいました。その店長の優しさに、私は泣きたいぐらい感動しました。

コンビニでは店長のご両親も一緒に働いています。お店のスタッフはみんな二人のことをお父さん、お母さんと呼んでいます。私は、お店では「チャン」と呼ばれていて、二人はいつも私に「チャンさん、頑張ってるね」と声をかけてくれます。働き始めて最初の2ヶ月ぐらいは失敗は何度もあり、落ち込むことがよくありました。そんなある日の午後、列で順番を待っていた、ある男性が私を見たたん、指をさして「お前外国人、信じないよ」と怒鳴り、別のレジへ向かおうとしました。私はびっくりして、顔が真っ

青になりました。頭の中が真っ白になり、考えることができなくなってしまいました。

私がそこで動けずにいると、お父さんがそばに来て、そのお客様に「チャンさんは頑張っている人です。信じてあげてください」と言ってくれたのです。私を守ってくれた、このお父さんの言葉は、いつまでも忘れられない大切な宝物です。お母さんも、私を本当の娘のように気にかけてくれています。今のお店は本当の家族のような温かさが感じられる職場です。私は店長や同僚の人たちに支えによって成長ができていると感じています。以前は日本で新しい環境に溶け込むためには、言葉を上手に学ぶだけでいいと思っていました。でも、このアルバイトで出会った人々から、相手の立場に立って、お互いを理解し合うことが、何よりも大切なことだと分かるようになりました。そうすることで初めて、新しい世界の一員として生きていくことができるのです。

ご清聴ありがとうございました。



【奨 励 賞】



氏 名 Senthil Varun
(センシル ヴァルン)

国・地域 アメリカ 

在日期間 2年5ヶ月

学 校 曾於市外国語指導助手

タイトル : 反常識

常識で負けている！

常識の定義を調べてみるとこう書いてある：健全な一般人が共通に持っている、または持つべき普通の知識や思慮分別。

一般人が共通を持っていることはどう考えてもありえないでしょう？そうでなければ、ポジティブシンキングの本はそんなに売れないし、人間関係における悩みは話題にならない人はもっと多いでしょう。

普通の思慮分別というのは紋切り型の現実との接し方なのだ。人間は考えるのを避けようとするものだから、安定なシステムに頼る嫌いがある。そのため常識を常識としてのみで解決する環境を維持しようとする。常識で解決できない問題は「仕方がないな」と思われる、または、無視される。

でも、仕方がないなんてことはない。そして、無視したら、無知に苦しむ始末だ。多くの問題の解決策を一言でいえば、常識を覆す。

具体例をあげよう。

A君とB君は入社した。A君はできるだけ迷惑をかけないようにしていた。問題があったら自分でググって解決したり、余計な話をしなかったりしていた。会社のみんなに真面目だと思われていたが、気軽に話し合える相手がいなかった。寂しかった。逆にB君はよくまわりの人の世話になった。問題があったら同僚に訊く。あっという間にB君の周りに信用できる友達が多くなった。当然ながら、B君をちょっと面倒くさいと思う人もいたが、8時間以上もいる職場は心地よい環境だった。

A君は迷惑をかけないという常識のルールに従っていた。B君はそのルールを破って、反常識のルールを発見した：「愛される人ほど人に迷惑をかけている」。

人間は一貫性を求めるのだ。矛盾が嫌い。ゆえに、一貫性を維持するために、手伝った相手への気持ちはポジティブになる。

みんなはこの反常識のコツを身に着けたら、疎外感を抱いている人が少なくなるのではないか。

反常識でうまくいくのは人間関係に限らず、教育もうまくいくのだ。外国語教育の例をあげよう。

なぜ日本で英語でコミュニケーションができる人は非常に少ないか？外国語教育制度はアウトプットが重視しているからだ。文法と単語を覚えて、頭で日本語の文を直訳して、英語で発言する。なんという不自然な話し方ではないか！

今までの外国語で流暢になった人はみんな独学している。アウトプットよりインプットが百倍多い。発言力はインプットで決まっているから。

つまり、話すより聞くべきだ。書くより読むべきだ。幼児英会話よりSpongeBobだ。いうまでもなく、アウトプットもしないといけな。しかし、アウトプットできる範囲はインプットの範囲の一部に過ぎない。

今の外国語教育制度の常識を覆さないと、生徒たちの英語力は上がらない。

次は心理の例をあげよう。

現代社会は幸せを優先する。ほとんどの人が幸せに追うが、幸せな人は非常に少ない。なぜだろう？そして、どうすればよいだろう？

哲学者のスラヴォイ・ジジェクに言わせると「幸せは重要ではない。問題は本当に何が欲しいかわからないことである。欲しいものを得ることで幸せになるわけではない。欲求することだけである。日和見主義者しか気にしないものだ。ゆえに、満足できる人生とは永遠の闘争という人生であると思う。特に自分との闘争が。幸せになりたいなら、バカになれ。本当の名人は幸せであることがない。幸せを求めるのは奴隷だ。」

厳しく常識を覆している言葉だ。幸せを追わなくて、自分との闘争して、満足できる人生を生きよう。自分との闘争とは反常識を生かすことかもしれない。多くの問題は反常識の対策で解決できると伝わただろうか？

三つの具体例は十分だから、また抽象的な話に戻ろう。あらゆる状態での使い方には三つのステップがある。

1. 問題があるということを確認する。
2. ある状態の動作原理を見つける。
3. 常識を覆して、行動する

もちろん、これが絶対上手いくとは限らないが、試行錯誤するまでだ。皆さんがいろいろと勉強して、「一般人が持っている」知識が及ばない知恵を身に着けて、色んな状態で常識を覆したら、今までない解決道を見つけるだろう。反常識は新常識になる。

そして、それも駄目になって、またその常識を覆さないといけなくなる。これは常識のみならず人間の進化だ。

ご清聴ありがとうございました。



【奨 励 賞】【審査員特別賞】



氏 名 大園 優美
(おおその ゆみ)

国・地域 中国 

在日期間 1年

学 校 星峯中学校

タイトル : 今を全力で

みなさん、こんにちは。私は、一年前に中国から来ました、大園優美です。今は星峯中学校の2年生です。

私は、日本に来たころ、全く日本語が分かりませんでした。スーパーで買い物をして、レジの人に「カードありますか。」「袋いりますか。」私には「△○×?」全然わかりませんでした。そんな時に、私は公園に遊びに行きました。それから、町を探検したくて、公園を出ました。ところが、歩いているうちに、自分がどこにいるか分からなくなってしまいました。「どうしよう…」と困りはてている時、おばあちゃんに会いました。私が知っている日本語、「こんにちは。すみません。」と声をかけて、家の写真を見せて「Where?」とたずねました。おばあちゃんは、私が家への帰り道が分からないらしいと気づき、一緒に私の家をさがしてくれて、ついに見つけることができました。私は、おばあちゃんの親切な行動に心を打たれました。何回もお礼を言いました。私の日本人への印象は、今までいい印象を持っていなかったけれど、180度変わった出来事でした。

学校では、最初のころ、いつも一人で寂しかったです。でもある日、美術の授業中に一人で絵を描いていると、5人のクラスメイトが近づいてきて、私に話しかけてくれたのです。その人たちの後ろから射す太陽の光が、とても輝いて見えたのが今でも心に残っています。その時から、私はその人たちと友達になり、たくさんのことを教えてもらいました。話したいことがたくさんあったけれど、日本語があまりできない私は、何もしゃべることができません。みんなが笑っているとき、なぜ笑っているのか、分かりませんでした。いろいろなことがあって、「日本語をがんばろう!」と、強く思いました。

部活はバレー部に入りました。バレー部に入りましたが、バレーをすることは初めてなので、練習のときによく「私、無理。」「私、できない。」とっていました。でも友達か、「頑張れ!」「失敗はだれにだってあるよ。」といい、先生も「自分ができないと思ったらできない!できると思ったらできる!気持ちは大切!」と応援してくれました。部活が終わり、家に帰ったら、荷物を置いて、毎日暗い中、公園の外灯の下で練習をしまし

た。うまくできないときは、悔しくて自然と涙が出てきました。それで、私は、自分がバレーが好きなことを確認し、もっとがんばろうと思いました。公園で練習をするときに、私を照らしてくれる外灯を見て、「あのよう輝く未来がいつかきっとくる！」と思うと、自分に自信がもてるようになりました。私は今ここにいる。これまで私に励ましの言葉をかけてくれた人たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

私の頑張りは、自分のためにではなく、親や先生たち、仲間たち、わたしに関わってくれた人たち、その人たちの信頼に応えるためです。

だから、「今を全力で」これからもがんばります！！

ありがとうございました。



【奨 励 賞】



氏 名 SHRESTHA RUDRA
BAHADUR
(シュレスタ ルドラ バハドゥール)

国・地域 ネパール 

在日期间 1年8ヶ月

学 校 鹿児島情報ビジネス公務員専門学校

タイトル : 日本人の言葉の選び方

私はコンビニエンスストアで働いているんですが、あなたが店員ならこんなときどうしますか。お客様が一万円出して「おい、細かくしてよ」と言っています。それは失礼だと思います。

言い方が乱暴ですし、それよりその人は何も買っていません。私なら百パーセントムツとします。私は少し短気なので、ここがネパールだったら、ケンカになっていると思います。

「ここは両替をする場所じゃない！何か買えば？」と文句を言っていると思います。みなさんはいかがですか？私は当たり前のことを言っていると思います。ここは銀行じゃなくて、店なんですから。きっと日本人も私と同じ考えだと思うんです。しかし日本人の対応は先ほどの私とは違います。では、日本人風の対応を私がしてみます。まず落ち着きます。そして、静かにていねいに言います。「お客様、大変、申し訳ありませんが、ご遠慮ください。」

どうですか？私はコンビニで研修を受けていますから、かなり日本人風だったと思います。

日本人は怒るところか、できないことをはっきり「できません！」とすら言いません。失礼な人にも丁寧に言わなければなりません。それではストレスがたまると思いませんか？私の国では考えられません。ですから日本人は何でそんな言葉を選ぶのかわからないし、日本人のストレスを私はとても心配になるのです。その他にも、日本人は自分が悪くないときでも「すみません」と言います。断るときも「考えてみます」や「今日はちょっと…」とあいまいな返事をします。

おいしくないものを食べても「おいしい」と言います。学校の行事で校外に出た時、試食をすすめられました。お店の人に「おいしい？」と聞かれ、私たちは正直に「おいしくない！」と答えました。その時の先生の慌てた顔が、今でも忘れられません。日本人はいつも何で思ってもいないことを言うんだらうと、ネパールから来た私には本当にわからないことばかりでした。

他にも変だなと思っていたことがあります。

みなさんは「つまらないものだけど…」と、プレゼントをもらったことがありますか。「え！？つまらないものをなんで私に渡すの？」とびっくりしました。感謝していいのかわかりませんでした。その反対もあります。私がプレゼントを渡した時、困った顔で「すみません」と言われたことがあります。ショックでした。

「あなたの嬉しそうな顔を見たかったのにどうして困った顔をするの？」

とても悲しくなりました。私はとてもショックで、仲のいい日本人に相談しました。そこで分かったんです！言葉そのままの意味では分らなかった日本人の考え方がわかったんです！

「すみません」

と困った顔をしたのは、プレゼントのお礼だけでなく、自分のために時間やお金を使ってくれたという、見えないところまで思いやってくれた言葉だったんです。それを知って、感動しました。

日本人の言葉選びのルールがだんだん分かってきました。ストレートに断らないのは、相手がショックを受けないようにとの気づかいなんです。見えないところまで想像して感謝できるのはすばらしいと思います。日本に来てもうすぐ1年9ヶ月、時々腹が立つこともあります。私は日本人のように言葉を選ぶよう心がけています。おいしくないと思ってもストレートには言いません。相手の気持ちを考えるのが先です。相手を大切にすることが言葉に表れているのです。日本語のレベルより、このようなことがコミュニケーションにおいて大切だと思います。

日本人の選ぶ言葉は、まるで恋人に送る花束のようです。優しく、美しいと思います。

日本では昔から言葉に力があって、相手の心を動かすと言われるそうです。幸運を呼ぶ力もあるそうです。ですから、昔からできるだけいい言葉を選んで使うようにする文化があると聞きました。本当にすてきな文化だと思います。私も日本人のように使う言葉を選んで、人の心を動かせる国際人になりたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。





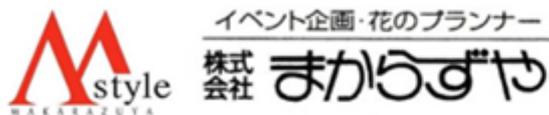
主催

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会

後援

鹿児島県日中友好協会	鹿児島県マレーシア友好協会
鹿児島市日中友好協会	鹿児島スペイン協会
鹿児島日英協会	鹿児島日豪協会
鹿児島日独協会	鹿児島日仏協会
鹿児島日華親善協会	鹿児島日韓親善協会
(一社)鹿児島県日越友好協会	鹿児島国際化推進協議会
鹿児島県	鹿児島県教育委員会
鹿児島市	鹿児島市教育委員会
鹿児島商工会議所	(公社)鹿児島青年会議所
国立大学法人鹿児島大学	国立大学法人鹿屋体育大学
鹿児島国際大学	志學館大学
第一工業大学	鹿児島純心女子大学
鹿児島県立短期大学	鹿児島工業高等専門学校
学校法人赤塚学園	
学校法人九州総合学院鹿児島情報ビジネス公務員専門学校	
学校法人神村学園高等部 神村学園専修学校	
学校法人原田学園鹿児島キャリアデザイン専門学校	
九州日本語学校	
(株)南日本新聞社	NHK鹿児島放送局
(株)南日本放送	K T S鹿児島テレビ
(株)鹿児島放送	K Y T鹿児島読売テレビ

協賛各社・各団体



ご協賛ありがとうございました。